

令和7年
2025年

11月12日
水曜日

第11832号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6カ月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



上海で「第8回中国国際輸入博覧会」が開催された……P4

▶牛マルキン9月交付金、肉専用種は17都道県で交付
豚マルキンは交付なし………P2

▶第62回関東甲信越食肉連絡協議会、通常総会山
梨大会を開催………P3

▶マルイチ産商26年3月期第2四半期決算、売上高
1458億7100万円で15.0%増………P3

▶上海で「第8回中国国際輸入博覧会」過去最高の
約4100社以上が出展………P4

▶滝沢ハムの第2四半期決算は減収減益に、販売数量
減や輸入牛原材料高騰が響く………P4

▶[鶏肉需給動向・9月]推定出回り量は前年同月比
4.1%増………P5

▶すき家「機動戦士Gundam GQuuuuuuX」のコラボ
キャンペーンを開催………P5

▶京都食肉市場で第8回信州プレミアム牛肉オール信
州共進会in京都を開催、新田副知事らも出席し、関係
者との意見交換行う………P6~7

▶米国、健康志向の高まり、タンパク質や糖類の消費に
影響………P7

▶[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・
交雑牛・乳牛チルド〉………P8

▶[資料]2025年9月の食肉輸入通関実績⑫………P9

▶[東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]11日……P10

▶[各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]11日……P11

注目のヘッドライン

牛マルキン9月交付金、肉専用種は17 都道県で交付、豚マルキンは交付なし

…詳細はP2

第62回関東甲信越食肉連絡協議会、通 常総会山梨大会を開催

…詳細はP3

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける

スターゼン

<https://www.starzen.co.jp/>

スエッチャー

S Foods

<https://www.sfoods.co.jp/>

牛マルキン 9月交付金、肉専用種は17都道県で交付 豚マルキンは交付なし

農畜産業振興機構は11日、肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン)の令和7年9月分および肉豚経営安定交付金(豚マルキン)の7年度第1~2四半期における標準的販売価格および標準的生産費、交付金単価(確定値)を公表した。

肉専用種については、標準的生産費が標準的販売価格を上回った17都道県で交付する。枝肉価格が伸び悩む中、交付地域は東日本に集中している。交付金単価を高い順にみると北海道の6万6069・9円、福島県の5万9913円、宮城県の5万1081・3円で高く、次いで青森県、群馬県、茨城県と続く。なお、石川県、兵庫県については、都道府県標準販売価格が規定の算出額を上回ったため、単独で標準的販売価格の算定を行っている。

交雑種については、標準的生産費が76万6270円

となり、標準的販売価格の75万4678円を上回ったため交付金単価は1万432・8円。乳用種は生産費が51万9239円となり、販売価格の48万1486円を上回ったため、交付金単価は3万3977・7円となった。

また、豚マルキンの7年度第1~2四半期については、肉豚1頭当たりの標準的販売価格が4万8714円となり、生産費4万4389円を下回らなかったことから、交付はない。

肉用牛1頭あたりの交付金単価の算出結果(全国)

区分	単位:円/頭	
	交雑種	乳用種
標準的販売価格(A)	754,678	481,486
標準的生産費(B)	766,270	519,239
差額(C)=(A)-(B)	△ 11,592	△ 37,753
交付金単価(確定値)	10,432.8	33,977.7

※交付金単価は差額に100分の90を乗じた額

肉用牛1頭あたりの交付金単価の算出結果(肉専地域別)

区分	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
標準的販売価格(A)	1,118,437	1,103,340	同左					1,132,720
標準的生産費(B)	1,191,848	1,158,381	1,130,125	1,160,097	1,135,494	1,132,412	1,169,910	1,166,152
差額(C)=(A)-(B)	△ 73,411	△ 55,041	△ 26,785	△ 56,757	△ 32,154	△ 29,072	△ 66,570	△ 33,432
交付金単価(確定値)	66,069.9	49,536.9	24,106.5	51,081.3	28,938.6	26,164.8	59,913.0	30,088.8

栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	静岡県	新潟県
1,132,720	同左								1,182,724
1,159,828	1,184,894	1,163,637	1,143,761	1,142,897	1,146,241	1,143,571	1,139,948	1,121,306	1,156,275
△ 27,108	△ 52,174	△ 30,917	△ 11,041	△ 10,177	△ 13,521	△ 10,851	△ 7,228	11,414	26,449
24,397.2	46,956.6	27,825.3	9,936.9	9,159.3	12,168.9	9,765.9	6,505.2	-	-

富山県	石川県	福井県	岐阜県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県
同左	1,459,762	1,182,724	1,258,165	同左		1,156,459	同左		1,439,968
1,147,739	1,147,125	1,117,205	1,173,835	1,121,153	1,105,162	1,102,679	1,134,352	1,070,001	1,398,578
34,985	312,637	65,519	84,330	137,012	153,003	53,780	22,107	86,458	41,390
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
1,156,459	同左	1,150,311	同左				1,160,146	同左	
1,071,470	1,077,538	1,176,197	1,100,818	1,089,468	1,102,394	1,116,424	1,128,149	1,135,131	1,114,983
84,989	78,921	△ 25,886	49,493	60,843	47,917	33,887	31,997	25,015	45,163
-	-	23,297.4	-	-	-	-	-	-	-

高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
1,160,146	1,153,846	同左					1,239,848	
1,093,390	1,130,335	1,133,120	1,138,091	1,134,707	1,122,640	1,110,339	1,121,055	1,084,479
66,756	23,511	20,726	15,755	19,139	31,206	43,507	32,791	155,369
-	-	-	-	-	-	-	-	-

第62回関東甲信越食肉連絡協議会、通常総会山梨大会を開催

第62回関東甲信越食肉連絡協議会は6日、山梨県食肉事業協同組合連合会および山梨県食肉生活衛生同業組合が開催担当を務め、甲府市の甲府記念日ホテルで通常総会山梨大会を開催した。

冒頭、前回開催地・茨城県の内田泰男理事長による開会のあいさつ、山梨県生衛の理事長でもある齋藤義一実行委員長による歓迎の言葉の後、同協議会の倉持繁夫会長があいさつ。「われわれ食肉小売店には、全国の食卓に安全でおいしい肉を安定的に供給するという重要な役割がある。毎日の食卓をはじめ、ハレの日の需要に応え、学校給食にも安全で栄養満点のおいしい肉を提供していきたい。そして、人生100年時代、健康寿命で世界に誇れる日本であるために『長生きするならお肉を食べよ!』を消費者に周知すべきと考える」とした。

続いて、山梨県の長崎幸太郎知事(代読=井上弘之副知事)、甲府市の樋口雄一市長(代読=窪田敦副市長)、全国食肉事業協同組合連合会の村上幸春会長、全国食肉生活衛生同業組合連合会の池田清昭会長が祝辞を述べた。

議事では、令和6年度事業報告や7年度事業計画などの議案を原案通りに承認。役員任期満了に伴う改選については、各地区理事および監事のうち、長野県の関口豊常任理事、同県の掛川一富理事が新たに選出され、倉持会長をはじめとする各理事は再



任となった。なお、次回開催地は東京都に決定した。

その後、令和7年度食肉功労表彰者として、茨城県の渋谷義晴氏、大野勇一氏、栃木県の小池雅弘氏、鹿野克己氏、群馬県の高橋郁夫氏、埼玉県吉田誠太郎氏、千葉県小山義久氏、神奈川県堀江泰仁氏、山梨県小林敏氏、浅井千生氏、梶本洋治氏が表彰された。

総会後は研修会が行われ、全肉生連の松浦輝雄事務局長が福祉セミナーとして同連合会の実施事業を説明した他、福祉共済制度の運営やその特徴、導入するメリットなどをアピール。さらに、(株)山梨食肉流通センター営業企画室の石原洋子室長が「食品安全文化について」をテーマに、食品安全システム構築のエキスパートの立場から、HACCPやISO22000、FSC22000といった食品安全の手法・規格などを解説した。続いて懇親会が行われ、出席者同士で情報交換をしつつ、親睦を深めた。

マルイチ産商 26年3月期第2四半期決算 売上高 1458億7100万円で15・0%増

マルイチ産商は11日、2026年3月期第2四半期決算を発表した。連結の業績は、昨年11月からダイニチグループを連結範囲に加えたことや、商品の値上げに伴う販売単価の上昇もあり、売上高は1458億7100万円(前期同期比15・0%増)となった。利益面は、のれん償却費と昨年7月の新基幹システム稼働に伴う減価償却費が増加する一方、「中期経営計画2025」で掲げた各施策の実行による定量効果と、新基幹システムの円滑運用が進み、前年同期に一過性で発生した経費増の状況を脱したことから、営

業利益は9億600万円(前年同期は6千万円の営業損失)。経常利益は11億5800万円(116・2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は7億8600万円(67・6%増)となった。

セグメント別で、畜産事業は売上高228億1400万円(1・8%増)、営業利益1300万円(前年同期は8800万円の営業損失)。飼料価格の高騰などに伴う国産畜肉の高値傾向と、輸入畜肉の仕入価格の高止まりが継続する中、製造・流通加工機能の強化に向けた食肉加工分野への重点投資を進めている。

上海で「第8回中国国際輸入博覧会」過去最高の約4100社以上が出展

中国・上海市で5～10日、中国最大規模の企業展示会「第8回中国国際輸入博覧会(China International Import Expo)」が開催され、36万㎡の広大な展示会場には世界各国から過去最高となる4100社以上の企業が出展。日本からも300社以上が参加し来場者は延べ90万人超となったという。各会場には食品・農産物、自動車、インテリジェント産業・情報技術、消費材、医療機器・ヘルスケア製品、貿易サービス、イノベーションといった各分野から多様な企業が参加した。日本からも多くの企業が出展する中、日本貿易振興機構(ジェトロ)がブースで日本の食品・食文化を訴求。その中でインバウンド需要が高まっている和牛のPRも実施され、現地で食肉小売・卸・外食事業を展開する合弁会社「上海梅杉食品有限公司」が中心となってVTR放映や和牛に関する説明、冊子の配布を行った。

上海梅杉食品有限公司(虞積恵総経理、梅村美智明監査役)は2014年、愛知県をメインに関東・関西で小売・卸・外食事業を展開する食肉総合企業のスギモトグループホールディングス(株)(杉本達哉社長)と中国で小売・卸を展開する上海梅善食品有限



会社がスタートさせた企業。上海梅善食品は食肉小売・卸を愛知県中心に行ってきた(有)梅善(梅村美智明社長)が20年前に立ち上げた企業だ。今回はインバウンド需要への対応が主目的ではあるが、将来的に和牛輸出が解禁となった場合もにらみながら丁寧な対応を行った。

滝沢ハムの第2四半期決算は減収減益に 販売数量減や輸入牛原材料高騰が響く

滝沢ハムが11日に発表した2026年3月期第2四半期連結業績によると、売上高は132億5600万円(前期比5・1%減)となった。損益面については、販売数量の減少や輸入牛肉等原材料価格の上昇により、経費の削減に努めたが、営業損失2億2600万円(前年同期2億2100万円の営業損失)、経常損失2億2千万円(前年同期2億700万円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純損失2億2900万円(前年同期2億8900万円の親会社株主に帰属する中間純損失)となった。

同社は「消費者に感動を与え続ける商品をお届けし、地元愛と共に社員満足の高い食品企業への成長を続ける」というビジョンステートメントに基づき、新商品の開発および販売促進活動の強化による販売

数量の拡大、新規顧客の獲得に取り組むとともに、生産・加工体制の見直しによる生産性の向上および原価低減を推進している。

セグメント別にみると、食肉加工品部門はハム、ベーコンの販売数量が減少し、売上高は50億9100万円(前年同期比4・4%減)。食肉部門は国産および輸入牛肉の取り扱いが増加したが、国産および輸入豚肉の取り扱い減少の影響が大きく、売上高は55億6700万円(6・5%減)となった。また、総菜その他加工品部門は、CVS向け総菜品の売り上げが減少し、売上高は25億4600万円(3・6%減)となった。その他部門は、外食部門などの売上高が5千万円(6・4%増)となった。

【鶏肉需給動向・9月】 推定出回り量は前年同月比4・1%増

農畜産業振興機構が発表した9月分の鶏肉需給動向によると、推定出回り量は19万6055t(前年同月比4・1%増)と、前年同月から増加した。このうち国産品は14万1825t(2・9%増)、輸入品は5万4230t(7・3%増)となった。

また、国内生産量は14万2551t(4・9%増)、輸入量は5万7773t(17・6%増)となった。これにより、推定期末在庫は国産品が3万3879t(2・2%増)、輸入品が13万250t(4・6%減)で合計16万4129t(3・3%減)となった。

鶏肉需給表

(単位:トン、()内前年比%)

年度・月	生産量	輸入量	推定期末在庫		推定出回り量		
			輸入品在庫	国産品在庫	うち輸入品	うち国産品	
令和5年	9	135,797 (100.3)	48,372 (103.4)	132,497 (109.3)	30,049 (116.3)	49,209 (105.2)	137,746 (99.8)
	10	145,552 (100.5)	47,805 (88.6)	130,926 (102.7)	29,754 (118.0)	49,376 (103.6)	145,847 (100.3)
	11	146,801 (101.8)	39,181 (78.7)	119,960 (92.3)	30,873 (132.1)	50,147 (105.9)	145,682 (99.7)
	12	155,398 (101.5)	50,981 (115.1)	115,660 (93.1)	33,551 (136.1)	55,281 (110.5)	152,720 (100.6)
令和6年	1	140,093 (102.0)	54,687 (123.3)	125,877 (100.2)	31,152 (127.5)	44,470 (103.5)	142,492 (103.5)
	2	144,552 (108.0)	55,395 (117.6)	124,137 (96.9)	34,868 (139.6)	57,135 (128.1)	140,836 (105.6)
	3	143,802 (100.4)	52,670 (110.8)	129,110 (101.8)	36,868 (136.3)	47,697 (97.7)	141,802 (100.5)
	4	146,411 (104.8)	52,006 (109.7)	127,057 (106.3)	35,506 (128.9)	54,059 (98.7)	147,773 (106.2)
	5	147,168 (103.0)	53,259 (103.0)	131,041 (102.8)	36,263 (123.6)	49,275 (112.7)	146,411 (103.8)
	6	143,169 (101.0)	49,373 (85.6)	133,066 (99.6)	36,708 (128.4)	47,348 (91.8)	142,724 (100.2)
	7	139,722 (104.5)	51,778 (110.9)	133,594 (103.1)	35,468 (115.9)	51,250 (101.1)	140,962 (107.1)
	8	130,029 (97.3)	56,697 (101.3)	137,941 (103.5)	35,094 (109.7)	52,350 (100.2)	130,403 (98.6)
	9	135,916 (100.1)	49,125 (101.6)	136,518 (103.0)	33,154 (110.3)	50,548 (102.7)	137,856 (100.1)
	10	147,681 (101.5)	62,323 (130.4)	141,112 (107.8)	32,202 (108.2)	57,729 (116.9)	148,633 (101.9)
	11	144,235 (98.3)	51,967 (132.6)	139,323 (116.1)	30,780 (99.7)	53,756 (107.2)	145,657 (100.0)
	12	154,393 (99.4)	49,932 (97.9)	134,940 (116.7)	29,565 (88.1)	54,315 (98.3)	155,608 (101.9)
令和7年	1	139,100 (99.3)	52,300 (95.6)	139,154 (110.5)	26,258 (84.3)	48,086 (108.1)	142,407 (99.9)
	2	136,695 (94.6)	47,691 (86.1)	139,214 (112.1)	25,720 (73.8)	47,631 (83.4)	137,233 (97.4)
	3	146,506 (101.9)	42,303 (80.3)	131,242 (101.7)	25,771 (69.9)	50,275 (105.4)	146,455 (103.3)
	4	148,548 (101.5)	47,714 (91.7)	127,432 (100.3)	24,973 (70.3)	51,524 (95.3)	149,346 (101.1)
	5	146,331 (99.4)	48,537 (91.1)	128,174 (97.8)	26,982 (74.4)	47,795 (97.0)	144,322 (98.6)
	6	141,698 (99.0)	51,556 (104.4)	128,818 (96.8)	29,793 (81.2)	50,912 (107.5)	138,887 (97.3)
	7	142,858 (102.2)	48,245 (93.2)	124,093 (92.9)	31,278 (88.2)	52,970 (103.4)	141,373 (100.3)
	8	138,069 (106.2)	49,613 (87.5)	126,707 (91.9)	33,153 (94.5)	46,999 (89.8)	136,194 (104.4)
	9	142,551 (104.9)	57,773 (117.6)	130,250 (95.4)	33,879 (102.2)	54,230 (107.3)	141,825 (102.9)

すき家「機動戦士 Gundam GQuuuuuuX」のコラボキャンペーンを開催

㈱すき家(東京都港区、笹川直樹社長)が展開する牛丼チェーン店「すき家」は18日から、「機動戦士 Gundam(ガンダム) GQuuuuuuX(ジークアクス)」とのコラボキャンペーン「このひととき、キラキラ。」を開催する。

同キャンペーンは、同店の店内で楽しそうに食事をするオリジナルビジュアルのキャラクターが登場。対象メニューの注文で「オリジナルステッカー」や「オリジナルA5クリアファイル」がもらえるというもの。さらに、キャラクターによるオリジナル店内放送や同店公式Xでのプレゼントキャンペーンなど、さまざまな企画でキャンペーンを盛り上げる。キャンペーン概要は以



下の通り。

開催期間=11月18日~12月26日、対象店舗=全国同店舗※談合坂SA下り店はキャンペーンの対象外、詳細はキャンペーン特設サイト (<https://www.sukiya.jp/gquuuuuux2025/>) で。

京都食肉市場で第8回信州プレミアム牛肉オール信州共進会 in 京都を開催 新田副知事らも出席し、関係者との意見交換行う

長野県は10日、県産和牛ブランド「信州プレミアム牛肉」のブランド力向上および県内における肉牛生産振興を目的として、京都市中央卸売市場第二市場で第8回信州プレミアム牛肉オール信州共進会 in 京都を開催。歳末の商戦に向けて県内から厳選された上質な黒毛和牛41頭が出品され、厳正な審査の結果、土屋畜産(株)の出品牛が最優秀賞を獲得した。

「信州プレミアム牛肉」は、2009年(平成21年)に長野県が立ち上げたブランド銘柄和牛。全国で初めて規格基準に従来の脂肪交雑の他、うまみ成分の一つであるオレイン酸含有量数値を定めていることが特徴で、軟らかさと風味に優れた牛肉として評価を高めている。令和6年度は4586頭を認定している。

今共進会では、枝肉41頭を出品。40頭はA4以上に格付され、うち5等級は38頭。平均BMSが10を超える非常にハイレベルな共進会となった。その中で栄えある最優秀賞に輝いた雌牛の枝肉は、父が「北美久」、2代祖「満天白清」、3代祖「華春福」の血統で枝肉重量は563.0kg、ロース芯面積が104cm²、バラ厚10.7cm、A5等級でBMSNo.12に格付。バランスが良く堂々たる体軀の枝肉であり、日格協の審査講評でも「胴が詰まり、理想的な体型であり、出品牛の中でも一歩抜きん出ている」と称賛された枝肉であった。出品した土屋畜産は県で黒毛和牛約200頭を飼養する生産農家。土屋進社長(下写真中央)は「受賞はまぐれではないかと思うがうれしい」と喜びを語った。

競りでは歳末商戦に向けて買参者による積極的な購買が見受けられ、最優秀賞牛はキロあたり3501円で京都食肉販売(株)が買い受けた。

なお、今イベントには長野県の新田恭士副知事(下写真右)が出席。表彰式では出席者、京都市場関係者に謝辞を述べた後「関係者の皆さんの日頃の取り組みが信州プレミアム牛肉のブランド価値を高めているということを実感する。これから国内だけでなく世界に向けてブランド展開していくために、どのようなアピールをしていくべきか検討することが重



要。県としても、これから皆さんや後継者の方々が肉牛生産を安心して続けていけるように、しっかり取り組んでいきたい」とあいさつ。

続いて京都を中心に食肉卸・小売・外食・輸出事業などを手掛ける(株)フレイバー・プラザの堀辰昭社長(下写真左)が、信州プレミアム牛肉の魅力および、海外市場の状況と今後の展望について講演を行った。その中で、堀社長は、信州プレミアム牛肉がこれから本格的な海外展開を目指す際、外国人には長野オリンピックのレガシーなどから、信州よりも「長野」の呼称が浸透しているため、海外向けには「NAGANO」を推していくほうが良いのではないかと提案を行った。また、質疑応答では生産者から副知事に対して「長野県の牛肉が海外に普及していくのは(生産の)誇りになる。とにかく迅速な対応をお願いしたい」といった声も上がった。

最優秀賞牛以外の入賞牛出品者は次の通り。優秀賞 (株)肉研ファーム百瀬恵梨(3083円、購買者=京都食肉販売)、浅岡久志(3004円、同)▷優良賞 きたやつファーム(2747円、(株)フレイバー・プラザ)、(株)村沢畜産(2712円、(株)銀閣寺大西)、河合

正寿(2565円、同)

その他、11月10日から12月9日まで関西地域を中心とした食肉専門店、量販店、焼き肉レストランなど38店舗で「信州プレミアム牛肉フェア」を開催。ポス

ター・チラスなどによるPRを行うほか、アンケート回答者の中から抽選で長野県産農産物をプレゼントする。

米国、健康志向の高まり、タンパク質や糖類の消費に影響

近年、米国では国民の肥満率の継続的な上昇や、コロナ禍での外出機会の減少などによる慢性疾患の増加もあり、消費者の健康志向が徐々に高まっている。こうした中、生活習慣の改善の一環として、食事においてタンパク質の摂取を重視する消費者が増加している一方、糖類の消費については、米国連邦政府が掲げる政策も相まって減少傾向にある。

米国では、国民の健康志向の高まりにより、食事の傾向が変化している。食事の習慣を変化させている要因の一つには、2型糖尿病の治療薬であるGLP-1の存在がある。GLP-1は、2021年6月に肥満治療薬として承認を受けて以降、米国内の普及率が23年の5.5%から24年に8.3%までに上昇していると推計されている。同治療薬の服用者は、筋肉量の維持などを目的としてタンパク質の摂取を好む傾向があり、米国におけるタンパク質需要の増加を後押ししているとされる。

こうした中、食肉大手のカーギル社が25年4月に公表した年次報告書「2025年タンパク質プロファイル」によると、24年に「タンパク質摂取量を増やした」と回答した消費者は61%に上り、19年の48%に比べて13ポイント増加した。消費者がタンパク質の摂取量を増やす傾向がみられる中、食肉などの畜産物に加え、シリアルや飲料などによる消費も期待されており、小売店では高タンパク質をうたう商品が多く販売されている。

また、GLP-1の摂取により空腹感が緩和され、食事が減少するため、食品・飲料への支出も減少する傾向がみられる。民間調査機関の推計によると、GLP-1の服用者の増加によって、34年までに米国全体の食品・飲料への年間支出額が約480億ドル減少すると予測されている。一方で、GLP-1の服用者は食事の回数や量は減少するものの、1食当たり

の支出額は増加する傾向があり、特にレストランでの高品質な食肉や、魚介類のメニューに対する支出額は増加するとされている。こうした傾向に呼応し、店舗側では、少量のメニューやよりプレミア感のあるメニューを提供する動きも始まっている。

一方で、健康志向の高まりにより、糖類の消費は減少傾向にある。肥満や慢性疾患の増加に伴い、消費者が糖類の過剰摂取を控える傾向が強まっているほか、GLP-1服用者が血糖値管理のため、糖分の少ない食事を選択することなども影響している。商品パッケージにも、糖類含有量を表記する商品が増加している。米国国民の食事を通じた健康については、連邦政府の政策であるMAHAの取り組みの一環としても対策が講じられている。25年の第2次トランプ政権発足以降設置されたMAHA委員会は、5月および9月に報告書を公表しており、いずれも糖類の過剰摂取と健康への影響などについて言及している。

これらの報告書に沿う形で、連邦政府の補助的栄養支援プログラム(通称=SNAP)から清涼飲料水などを除外する旨を検討・実施する州が増加しており、GLP-1の普及も相まって、食品・飲料などにおける糖類の需要は減少方向にある。

米国では、消費者の食習慣の変化に加え、連邦政府や州政府による政策的な方向付けが行われている。特に25年は、「米国人のための食生活指針」の改定年に当たるため、MAHAレポートの内容が各プログラムに参照され、今後のSNAPなどを活用する米国内の消費者が購入する食品・飲料の数量にも影響を与えていくことが見込まれる。これに伴い、食品・飲料業界からのロビー活動が活発化していくと予想されており、すでに米国内の大手企業が参画する新たな団体も設立されている。(農畜産業振興機構)

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和7年10月12日～10月18日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		
		和牛チルド「4等級」	首都圏	3,510	4,052	4,390		3,975	4,169	近畿圏	3,437	3,888	4,320	3,857
		3,356	3,552	3,716	3,551	9,361		3,173	3,564	3,672	3,513	10,301		
		2,160	2,703	3,258	2,701	2,396		2,272	2,800	2,800	2,566	1,341		
		-	-	-	-	949		-	-	-	-	-		
		8,100	9,450	10,260	9,366	1,249		9,180	9,651	10,128	9,585	1,611		
		5,076	5,940	7,020	5,932	1,295		5,400	5,400	5,832	5,508	3,543		
		5,080	6,480	6,483	6,023	1,129		-	-	-	-	96		
		1,728	2,156	2,376	2,062	12,158		1,890	2,376	3,348	2,528	8,847		
		3,888	4,017	4,017	3,998	3,109		3,672	3,672	4,320	3,876	3,059		
		3,716	3,994	4,104	3,953	3,472		3,672	3,672	4,320	3,909	2,495		
		3,672	4,009	4,376	4,013	3,113		3,672	4,169	4,320	4,139	2,083		
		3,240	3,818	3,862	3,582	3,376		3,604	3,672	3,672	3,661	3,162		
		1,941	1,996	2,322	2,006	3,759		1,944	2,030	2,182	2,076	3,097		
		3,940	4,076	4,107	4,074	10,429		3,385	3,564	3,618	3,545	9,607		
		3,534	3,645	4,231	3,712	26,252		3,348	3,656	4,297	3,745	13,782		
	重量合計						86,216							72,555
	中京圏	3,056	3,239	3,240	3,191	1,052	九州圏	3,527	3,551	3,888	3,651	1,268		
		3,240	3,542	3,748	3,547	2,056		-	-	-	-	641		
		-	-	-	-	978		-	-	-	-	471		
		-	-	-	-	594		-	-	-	-	276		
		4,104	5,076	5,616	5,041	1,152		6,156	6,156	6,156	6,156	8,455		
		1,782	2,160	3,240	2,404	1,627		1,660	2,800	4,041	2,806	1,289		
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	332		
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	401		
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	255		
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	295		
		-	-	-	-	-		-	-	-	-	408		
		-	-	-	-	689		-	-	-	-	-		
		3,637	3,637	3,974	3,789	5,720		3,223	3,830	4,031	3,748	4,524		
	重量合計						13,868							18,615

(令和7年10月12日～10月18日)

交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,710	3,024	3,240	2,946	8,241	近畿圏	2,808	3,024	3,456	3,038	13,404	
		カタ	2,268	2,556	2,742	2,538	8,749		2,376	2,592	2,916	2,663	11,993	
		カタバラ	1,814	2,590	2,719	2,486	3,128		1,457	1,686	1,813	1,615	3,912	
		ヒレ	5,940	6,264	6,480	6,212	2,933		6,264	6,638	6,912	6,585	3,052	
		ロイン	4,018	4,406	4,752	4,437	2,569		4,514	4,514	4,548	4,517	6,787	
		トモバラ	1,458	1,997	2,916	2,097	8,413		1,512	1,566	1,907	1,601	11,263	
		ウチモモ	2,484	2,592	2,648	2,580	3,404		2,376	2,538	2,655	2,511	4,077	
		シントマ	2,592	2,754	2,899	2,773	3,195		2,376	2,592	2,808	2,616	5,174	
		ランイチ	2,538	2,700	2,938	2,719	3,282		2,484	2,607	2,700	2,606	4,659	
		ソトモモ	2,081	2,268	2,484	2,217	2,435		2,160	2,374	2,397	2,343	5,713	
		スネ	1,620	1,669	1,728	1,668	2,901		1,620	1,742	1,779	1,716	4,655	
モモセット	-	-	-	-	-	-	2,538	2,658	2,873	2,674	7,339			
セット	2,685	2,861	3,510	3,014	18,558	3,024	3,095	3,186	3,096	33,164				
	重量合計						67,808							115,192

乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,700	2,970	3,240	2,995	4,739	近畿圏	2,500	2,611	3,110	2,724	5,905	
		カタ	-	-	-	-	424		1,831	2,075	2,333	2,079	3,741	
		カタバラ	-	-	-	-	137		-	-	-	-	-	
		三角バラ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	809
		ブリスケット	-	-	-	-	-		1,296	1,426	1,458	1,391	2,831	
		ヒレ	5,234	5,400	5,616	5,413	1,507		4,860	5,277	5,670	5,280	1,915	
		ロイン	3,542	3,542	3,542	3,542	1,664		3,456	3,780	4,158	3,735	2,443	
		トモバラ	2,695	3,132	3,306	3,030	3,090		1,258	1,547	2,159	1,584	5,682	
		ウチモモ	2,082	2,160	2,273	2,178	2,191		2,138	2,138	2,192	2,139	6,601	
		シントマ	2,110	2,130	2,273	2,165	2,175		1,836	1,998	2,106	1,993	1,868	
		ランイチ	2,074	2,110	2,268	2,124	2,003		1,890	1,998	2,250	2,024	2,128	
		ソトモモ	1,149	1,944	1,998	1,857	1,005		1,998	2,160	2,970	2,343	2,714	
		スネ	1,512	1,588	1,674	1,577	1,596		1,566	1,656	1,805	1,664	3,618	
		セット	2,452	2,452	2,559	2,471	28,926		1,851	1,868	2,043	1,941	30,360	
	重量合計						49,457							70,615

[資料]2025年9月の食肉輸入通関実績⑫

品別国別 (COMMODITY BY COUNTRY)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

くず肉及び血(動物(牛及び豚を除く。))の肝臓のもの(均質調製品を除く。)(その他のもの)

CHINA	105	KG	142813	100498	1076537	766218
MONGOL	107	KG	-	-	500	600
THAILND	111	KG	11712	17551	60253	91146
SPAIN	218	KG	112	1034	262	2537
BULGAR	232	KG	-	-	180	1174
TOTAL	990	KG	154637	119083	1137732	861675
(E. U)	991	KG	112	1034	442	3711

1602. 31-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(七面鳥のもの)(均質調製品を除く。)(その他のもの)

GERMANY	213	KG	-	-	4077	3834
SPAIN	218	KG	-	-	24276	17892
TURKEY	234	KG	-	-	216	222
LITHUAN	237	KG	83662	72688	604119	500570
USA	304	KG	-	-	101	863
TOTAL	990	KG	83662	72688	632789	523381
(E. U)	991	KG	83662	72688	632472	522296

1602. 32-100 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(鶏(ガルルス・ドメスティクス)のもの(腸、ぼうこう又は胃の全形のもの及び断片(単に水煮したもの))

USA	304	KG	-	-	269	912
TOTAL	990	KG	-	-	269	912

1602. 32-210 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(鶏(ガルルス・ドメスティクス)のもの(牛若しくは豚の肉又は牛若しくは豚のくず肉を含有するもの)(均質調製品を除く。))

R KOREA	103	KG	-	-	26112	13075
CHINA	105	KG	24624	10064	225894	114912
FRANCE	210	KG	-	-	471	1388
TOTAL	990	KG	24624	10064	252477	129375
(E. U)	991	KG	-	-	471	1388

1602. 32-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(鶏(ガルルス・ドメスティクス)のもの(均質調製品を除く。)(その他のもの)

R KOREA	103	KG	81244	49660	448896	290053
CHINA	105	KG	17292536	10494992	143348511	87960934
VIETNAM	110	KG	798627	576663	7504370	5512639
THAILND	111	KG	26765003	18844604	231153965	162271867
MALYSIA	113	KG	-	-	2643	3240
INDNSIA	118	KG	13460	7788	79360	40585
PAKISTN	124	KG	-	-	1780	1721
SRILANK	125	KG	770	1013	2007	2672
FRANCE	210	KG	17372	8649	69512	33312
GERMANY	213	KG	-	-	5660	5067
TURKEY	234	KG	-	-	70315	33618
LITHUAN	237	KG	-	-	37106	28789
USA	304	KG	14283	12849	55565	50846
BRAZIL	410	KG	3000	1374	252890	118385
TOTAL	990	KG	44986295	29997592	383032580	256353728
(E. U)	991	KG	17372	8649	112278	67168

1602. 39-210 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(第01.05項の家きんのもの(七面鳥を除く。))(牛若しくは豚の肉又は牛若しくは豚のくず肉を含有するもの)

FRANCE	210	KG	-	-	724	2234
TOTAL	990	KG	-	-	724	2234
(E. U)	991	KG	-	-	724	2234

1602. 39-290 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(第01.05項の家きんのもの(七面鳥を除く。))(その他のもの)

CHINA	105	KG	710960	555009	5696311	4445217
-------	-----	----	--------	--------	---------	---------

(単位: 1,000円、UNIT:¥1,000)

品名・国名 COMMODITY & COUNTRY	国名 符号 CODE	数量 単位 UNIT	当 月		累 計	
			数量 QUANTITY	価額 VALUE	数量 QUANTITY	価額 VALUE

THAILND	111	KG	6075	5705	30641	41697
FRANCE	210	KG	-	-	1372	5560
TOTAL	990	KG	717035	560714	5728324	4492474
(E. U)	991	KG	-	-	1372	5560

1602. 41-019 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚のもも肉及びこれを分割したものの)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。)、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。))並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。))のみから成るもの(課税価格が1kgにつき、豚肉加工品に係る分岐点価格を超えるもの)

CHINA	105	KG	1016	1836	22582	83607
FRANCE	210	KG	143	522	3406	17041
SPAIN	218	KG	-	-	179	1297
ITALY	220	KG	3996	5255	26803	33862
AUSTRIA	225	KG	-	-	4034	10265
SLOVENI	242	KG	-	-	37	218
CANADA	302	KG	648	1050	12445	20004
TOTAL	990	KG	5803	8663	69486	166294
(E. U)	991	KG	4139	5777	34459	62683

1602. 41-090 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚のもも肉及びこれを分割したものの)(その他のもの)

R KOREA	103	KG	19567	14580	184330	139778
CHINA	105	KG	40844	30797	621382	393095
TAIWAN	106	KG	1392	2305	12449	18451
THAILND	111	KG	40270	44396	278331	320379
DENMARK	204	KG	12736	11552	51136	46382
FRANCE	210	KG	-	-	17380	11543
USA	304	KG	4896	14712	2003613	1197732
TOTAL	990	KG	119705	118342	3168621	2127360
(E. U)	991	KG	12736	11552	68516	57925

1602. 42-019 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚の肩肉及びこれを分割したものの)(ハム及びベーコン(滅菌したものを除く。)、プレスハム(豚の肉又はくず肉及びつなぎから成るものに限る。))並びにその他の調製をし又は保存に適する処理をした物品で豚の肉又はくず肉(1個の重量が10g以上のものに限る。))のみから成るもの(課税価格が1kgにつき、豚肉加工品に係る分岐点価格を超えるもの)

CHINA	105	KG	-	-	36699	39288
THAILND	111	KG	9573	13748	60853	87487
FRANCE	210	KG	-	-	73	333
SPAIN	218	KG	1007	2232	6824	15495
AUSTRAL	601	KG	-	-	7019	10950
TOTAL	990	KG	10580	15980	111468	153553
(E. U)	991	KG	1007	2232	6897	15828

1602. 42-090 その他の調製をし又は保存に適する処理をした肉、くず肉及び血(豚の肩肉及びこれを分割したものの)(その他のもの)

R KOREA	103	KG	-	-	43410	24239
CHINA	105	KG	169546	158263	630767	551631
TAIWAN	106	KG	-	-	381	482
THAILND	111	KG	41600	63334	191374	311349
SNGAPOR	112	KG	587	2341	18700	102624
DENMARK	204	KG	216300	115959	1170377	643729
IRELAND	206	KG	432000	249011	4485888	2606269
SPAIN	218	KG	96240	57536	677740	404036
CANADA	302	KG	1070500	596208	9839796	5498333
USA	304	KG	5641981	3362411	49246803	28076837

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 11月11日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,565	3,028	2,279	-	-
		安値	2,304	2,377	2,214	-	-
		平均	2,738	2,582	2,241	-	-
	85頭	頭数	55	25	5	-	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	1,838	-
	1頭	頭数	-	-	-	1	-
	去 A	高値	3,232	2,510	2,376	-	-
		安値	2,411	2,328	2,176	-	-
		平均	2,653	2,458	2,270	-	-
	215頭	頭数	164	42	9	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	2,328	-	-	-	-	
1頭	頭数	1	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,753	1,659	1,497	-
		頭数	-	3	5	8	-
	雌 C	平均	-	-	1,441	1,449	-
		頭数	-	-	2	2	-
	去 B	平均	-	1,777	1,659	1,510	-
		頭数	-	2	11	11	-
去 C	平均	-	-	-	1,404	-	
3頭	頭数	-	-	-	3	-	

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	430 430	643 839	- 85.5	(競り)	(相対)	
				-	12	62

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌 A	高値	2,694	1,919	2,007	1,531	-
	安値	-	1,657	1,688	1,638	1,373
和 去 A	高値	-	2,318	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
乳 雌 B	高値	-	-	-	1,128	1,030
	安値	-	-	-	1,121	985
乳 去 B	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
交 雌 B	高値	-	-	1,353	-	-
	安値	-	-	-	-	-
交 去 B	高値	-	1,692	1,634	-	-
	安値	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	702	676	702	619	540
	安値	608	552	540	454	186
	平均	629	606	595	547	471
	頭数	(10)	(302)	(305)	(160)	(62)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入 相対	高値	-	-	-	-	535
	安値	-	-	-	-	432
	平均	-	-	-	535	503
	頭数	(-)	(-)	(-)	(1)	(11)

[大阪食肉卸売市場] 11月11日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,502	2,371	2,195	-	-
(頭数)	(12)	(9)	(1)	(-)	(-)
B	-	2,247	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(1)	(1)
和 去 A	2,637	2,371	-	-	-
(頭数)	(18)	(10)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,830	1,695	1,570	-
C	-	-	-	1,528	-
交雑去 B	-	1,715	1,740	1,558	-
C	1,837	-	-	-	-
豚	574	567	555	524	486

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	11月11日	11月10日	(11月累計)
豚	70,000	69,100	421,800
成牛計	5,060	5,190	29,010
和牛雌	1,260	1,380	7,680
和牛去勢	1,580	1,470	8,230
乳牛雌	890	400	4,170
乳牛去勢	430	500	2,520
交雑雌	400	540	2,930
交雑去	500	830	3,390

[去勢牛B3・2規格 枝肉取引価格] 11月11日

	1,589円	(前日 1,578円)
東京		
大阪	1,620円	(前日 1,620円)

[豚・全農建値] 11月11日

上	中	取引頭数	市況
611円	597円	1,273頭	急伸

と畜 売買	牛	豚	牛概況	強含み
	66頭	144頭	豚概況	反落
	87頭	125頭		

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 11月11日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	583 (583)	- (-)	6,303	-	もちあい
仙台 [中]	602 (562)	548 (509)	570	77	反発
栃木 [地]	- (542)	- (496)	1,718	-	休市
茨城 [地]	598 (583)	565 (548)	1,384	589	続伸
群馬 [地]	604 (585)	502 (503)	2,323	233	続伸
さいたま [中]	638 (595)	627 (588)	161	158	続伸
東京 [中]	606 (568)	595 (552)	643	839	急伸
横浜 [中]	589 (599)	569 (569)	688	686	反落
山梨 [地]	693 (-)	695 (-)	135	88	上伸
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	-
名古屋 [中]	592 (603)	580 (588)	1,001	347	下落
京都 [中]	617 (613)	600 (604)	111	105	もちあい
大阪 [中]	567 (591)	555 (575)	144	125	反落
神戸 [中]	695 (-)	675 (-)	-	150	-
岡山 [地]	609 (606)	588 (591)	380	303	もちあい
広島 [中]	585 (586)	561 (562)	387	50	もちあい
福岡 [中]	589 (579)	549 (551)	562	128	反発

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 11月4日～11月10日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,740,873 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,080	1,214	1,258	1,199	74,767
うで	713	778	821	777	143,839
ロース	1,096	1,147	1,194	1,146	151,678
ばら	1,210	1,270	1,350	1,266	174,125
もも	738	769	807	772	212,931
ヒレ	1,103	1,169	1,188	1,169	16,348
セット	930	1,031	1,063	1,011	967,185

◇近畿圏 総重量 760,567 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,177	1,312	1,364	1,280	58,196
うで	689	744	810	761	122,781
ロース	1,080	1,187	1,261	1,197	109,613
ばら	1,238	1,319	1,376	1,310	138,530
もも	712	751	826	754	163,976
ヒレ	1,183	1,295	1,371	1,264	11,188
セット	907	990	1,111	1,002	156,283

[食鳥正肉日経相場] 11月10日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	656	730	939	206
ムネ	491	550	705	167

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	626	693	1,030	5
ムネ	472	525	607	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 11月10日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	960	775	550	600	650
安値	670	460	290	360	350
平均	740	553	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

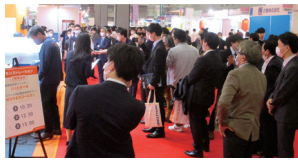
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強化にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡 晃 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーショナリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します